

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



○概況

- ◆ 政策金利の誘導水準を0.25%引き上げ
- ◆ 2019-2021年の利上げ見通しを下方修正
- ◆ 今後の利上げは「世界の金融・経済情勢を注視し、経済見通しへの影響を精査する」と慎重な見通しを示した

- ✓ FRBは12/18-19に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、政策金利を0.25%引き上げた。
- ✓ 声明文では、景気に関する見方はほぼ変わらず。利上げ見通しは2019年の利上げ見通しを3回から2回に引き下げ。これに伴い、2020年－2021年の政策金利見通しを引き下げた。長期的な政策金利見通しは3.00%→2.75%に引き下げられたが、平均値で見れば0.04%の下方修正に過ぎない。長期的な金融政策見通しについて政策委員の見方に大きな変化があったわけではない。
- ✓ 今後の金融政策は「更なる緩やかな利上げ」とのスタンスを維持したが、「幾分」を加えることで内容としてはマイルド化させた。また「世界の金融・経済情勢を注視し、経済見通しへの影響を精査する」との一文を加え、慎重な利上げ姿勢を示した。今後の利上げについて実体的には「データ次第」に移行したと言える。
- ✓ 会合後の米国金融市場では米国株安が進行し、米国金利が急低下するなど、FRBの金融政策運営に悲観的な見方が広がった。しかし、FRBが今後の利上げに慎重な姿勢を示したことは、過度な金融引き締め観測の後退につながり、金融市場の安定要因となる。パウエルFRB議長の来年1/4のインタビューや1/9の議事要旨に注目していきたい。

【FOMC参加者の見通し（12月時点）】

	FRB見通し（中央値）			
	2019	2020	2021	長期
実質GDP	2.3 ↓	2.0	1.8	1.9 ↑
9月時点	2.5	2.0	1.8	1.8
失業率	3.5	3.6 ↑	3.8 ↑	4.4 ↓
9月時点	3.5	3.5	3.7	4.5
PCEインフレ率	1.9 ↑	2.1	2.1	2.0
9月時点	2.0	2.1	2.1	2.0
FFレート	2.9 ↓	3.1 ↓	3.1 ↓	2.8 ↓
9月時点	3.1	3.4	3.4	3.0

(FFレート見通し内訳-FOMC参加者の人数)

	今後の利上げ回数	2019		2020		2021		Longer run	
		9月	12月	9月	12月	9月	12月	9月	12月
4.125	7回					1			
4.000									
3.875	6回			1		1			
3.750									
3.625	5回	1		6	2	2	2		
3.500						1		1	1
3.375	4回	4		2	3	4	1		
3.250	2020年末							1	1
3.125	3回	4	6	4	4	1	6		
3.000	2019年末					1		6	5
2.875	2回	4	5	1	6	3	4		
2.750								4	5
2.625	1回	1	4	1	1	1	3		
2.500								3	4
2.375	現在	1	2		1		1		
2.250									
2.125		1		1		1			
2.000									
平均値		3.016	2.846	3.281	3.066	3.234	3.007	2.883	2.844
中央値		3.125	2.875	3.375	3.125	3.375	3.125	3.000	2.750

 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース
 中央値
 【出所】FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。